

努力には心から敬意を表します。今回の休止については、地域の高齢化が進む中、地域をなんとか元気にしたいと地域

が主体に始まったお祭りであり、地域の方の意向を受け、今回の休止という結果になっている。

福寿草祭り



Q6

問 積極的な観光施策を支援、検討をしていく

ウォーキングなどの企画をしてはどうか。また、ゆとりすとパークも12月から3月の期間、ほとんどが休館状態であり、経営も大変厳しいと聞いている。このような施設を有効活用し、本町のPRに力を入れ大豊



県道川之江大豊線

▽小笠原妙子議員

本町には、本県の入り口となる高知自動車道大豊ICがある。その近くには、清らかな立川川に沿って整備のされた県道川之江大豊線がある。その景観は大変素晴らしいものがある。この景観を活かしたマラソン大会であるとか、サイクリングや



立川番所でのピアノコンサート



立川文化交流会

ICを通じて町外からの観光客を招き入れる積極的な観光施策を展開してはどうか。

▽岩崎憲郎町長

県道川之江大豊線沿線でのイベントは、年間通じて、地元の方がコンサートや交流事業などのイベントを行っており、継続できようしっかりと

支援をしていく。また、ゆとりすとパークについては、指定管理で運営を行っている交流施設であり、そういう面での努力をしていかなければと思っています。有効活用の、具体的な内容等を提案いただければ、さまざまな検討ができる。

Q7

問 大豊町民の日は周知できているか
答 周知に取り組む

▽小笠原妙子議員

大豊町民の日の条例は、町民に周知しているか。また、本町には大変素晴らしい町民憲章があるが、これを基に町民参加によって新しい町づくりの取り組みができるのではないかと考える。町長は、積極人口100%を掲げているが、現在の積極人口は何%と考えているか。

も受け継がれている。積極人口は、100%だと思っている。だから100%であり続けることを目指している。

大豊町民憲章

一 私達は、つねに心と体をきたえて明るい家庭をつくります。

一 私達は、つねに人間を大切にし、しあわせをわかちあえる町民になります。

一 私達は、つねに助け合い、決めごとを守りよい習慣をつくります。

一 私達は、つねに郷土を愛し、産業と文化の創造発展につとめます。

一 私達は、つねに力を合せて福祉と文教のまちをつくります。

Q8

問 文化ホールの必要を問う
答 多目的ホールの使用を

▽小笠原妙子議員

高知県内ほとんどの市町村には、文化ホールがあると思うが、本町にも施設が必要ではないか。施設があることによって、高齢者はもちろん、若者の定住にもつながっていくのではないかと。必要性を問う。

▽岩崎憲郎町長

確かにあったらいいが、本町では、地域の規模、行事の規模等の想定のもと、多目的に使えるホールが必要ということで整備している。それぞれの行事によって準備等も必要になってくるが、現施設の多目的ホールを使用したい。

▽小笠原妙子議員

総合ふれあいセンター多目的ホールについては、土足厳禁と

Q9

問 農林業の自立を問う
答 農業林業を活かす



重森一宗議員

現在は土足厳禁の利用になっている。住民の方々の意見で、今

の形の管理に変えたという経過を踏まえて今後は考えていく。

▽岩崎憲郎町長

町長は曰く、本町の基幹産業は農業・林業を合わせた農林業で成り立っていると言われているが、現状での農林業では自立が難しいと思われる。10年後・20年後の基幹産業をどう捉えているのか。

▽岩崎憲郎町長

将来に向けての在り方を考えたときに、この地域で暮らすうえで農業と林業は、産業政策だけでは語れない部分があり、環境政策という視点で考えても、この地域の農業林業の果たす役割は非常に大きい。ただ、産業として所得を得て生活の糧にするという視点で考えると非常に厳しい面もある。町内に



総合ふれあいセンター多目的ホール